

商工費の企業立地促進事業費では、埼玉県が実施する産業団地整備に係る可能性調査と連携し、事業化に向けた検討や調査に係る所要額の措置、商工業育成振興費では、プレミアム付商品券の発行経費。

教育費では、教育振興への指定寄附を財源として、小・中学校で使用する物品の購入及び「ぎょうだ郷土かるた」の改訂版の作成並びに地域公民館で使用する物品や防犯カメラの導入経費。

また、文化財保護費では、日本遺産の認定を記念したシンポジウムの開催及び日本遺産ガイドランスセンターを設置するための経費が主なものである。

なお、これらを賄う財源は、県支出金、寄附金、諸収入及び繰越金により措置するものである。

【主な質疑】

**問** 保育施設整備費補助金で整備する施設の詳細は。

**答** 市内渡柳に平成30年度開所予定の小規模保育事業所で、鉄骨造り2階建、延面積451.8㎡、入所定員19人、入所対象は3歳未満児である。

**問** 若小玉地区に産業団地の整備を予定しているとのことだが、その経緯は。

**答** 昨年9月に市長、議長、行田市商工会議所会頭、南河原商工会会長の連名で県知事に要望するなど、県に対し市を挙げて積極的な働きかけを行ってきた経緯がある。

**問** プレミアム付商品券発行についての詳細は。

**答** 発行総額は、販売価格5千万円にプレミアム分500万円で合計5500万円である。販売は1万円単位とし、1人当たりの購入限度は5万円、販売時期は10月、利用期間は平成29年11月から30年4月末までを予定している。

**問** 商品券販売の周知方法、周知時期はどのようか。

**答** 市報8月号及びホームページでの周知を予定している。

**問** 寄附金の事業はどのよう

に決定したのか。

**答** 教育分野での活用を希望する寄附者の意向を尊重し、市民の皆様の利益となるよう各課所館、小・中学校において検討、教育委員会等で集約し、決定したものである。

【議会人事】

議長に小林友明議員  
副議長は秋山佳于議員

農業委員会委員

本定例会最終日の6月22日に、正副議長の辞職に伴う選挙が行われ、議長に小林友明議員（新政策研究会・3期目）、副議長には秋山佳于議員（黎明21・2期目）が選出されました。また、各常任委員会正副委員長の辞任に伴う選挙が行われ、新しい正副委員長が次のとおり決まりました。

○建設環境常任委員会

委員長 吉田 豊彦  
副委員長 吉野 修

○健康福祉常任委員会

委員長 松本 安夫  
副委員長 細谷 美恵子

監査委員に松本安夫議員

監査委員の選任に関する議案が市長から提出され、議会選出の監査委員として、松本安夫議員（黎明21・3期目）の選任に同意しました。

新たな農業委員会委員13名の方の選任に同意しました。  
松崎 誠・吉田勇次郎  
長谷川浩一・竹井 好行  
大関 守宏・妻澤 隆夫  
島田 勇・小川 洋一  
宮崎 薫・新井 健一  
國島 健一・金子 久男  
藤間 光治（敬称略）

委員長 平社 輝男  
副委員長 江川 直一

議長 小林 友明



副議長 秋山 佳于



就任のあいさつ

このたび、議員各位のご推挙を得まして、議長・副議長の要職に就任いたしました。誠に身に余る光栄でありますとともに、その職責の重さに身を引き締めているところでございます。

現在、地方分権の進展とともに、自治体の自主決定、自己責任の範囲は拡大しており、二元代表制の一翼を担う市議会の果たす役割もますます重要なものとなってきております。

市議会といたしましても、このような状況をしっかり認識し、市民の皆様の代弁者として、これまで以上に市民ニーズを的確に把握するとともに、本市がさらに魅力的なまちとなるよう、積極的に取り組んでまいります。

今後とも、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。